

1. 調査報告概要表

作成日 2008年2月7日

【評価実施概要】

事業所番号	2170103994
法人名	メディカル・ケア・サービス東海株式会社
事業所名	愛の家グループホーム正法寺
所在地 (電話番号)	〒500-8442 岐阜市正法寺9番地 (電話) 058-277-8170

評価機関名	NPO法人 ぎふ住民福祉研究会
所在地	岐阜県羽島市竹鼻町狐穴719-1
訪問調査日	平成20年2月1日

【情報提供票より】(19年12月20日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成 18 年 3 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	11 人	常勤 9 人, 非常勤 2 人, 常勤換算 4.75 人	

(2)建物概要

建物構造	鉄骨 造り		
	3 階建ての	2 階 ~	3 階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000 円	その他の経費(月額)	45,000 円
敷 金	有(円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(100,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	有 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 800 円		

(4)利用者の概要(12月20日現在)

利用者人数	18 名	男性 7 名	女性 11 名
要介護1	4 名	要介護2	6 名
要介護3	3 名	要介護4	1 名
要介護5	2 名	要支援2	0 名
年齢	平均 85 歳	最低 79 歳	最高 92 歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	早徳病院、桐山歯科
---------	-----------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

岐阜市の南、高校や住宅、会社建物が多い商業地域の一角に建つ新しい建物である。管理者は異動で代わって間もない中、強いリーダーシップを発揮して若い介護者とともに質の高いサービスを目指している。「押し付けないケア」のもと、納得させるのではなく安心感を与えることを目指して利用者一人ひとりの尊厳を大切にするケアを実践している。利用者が自分の役割を見つけそれぞれが自分らしく暮らしている場面が見て取れる。利用者が居室で趣味の本を広げ楽しそうに説明してくれたり、自分の生活を話す様子から、職員とともに過ごす穏やかで生き活きた暮らしが伝わってくるようであった。今後地域に溶け込んでいけるよう根気よい働きかけを続ける事を期待したい。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	地域との交流については、自治会に入っているもののまだ交流は円滑になっていない。職員の教育については新人研修は母体組織で行われている。それ以降の教育ではホーム内で実際の仕事を通して行っている。系統的な教育計画として進められることを期待したい。
重点項目②	職員全員を自己評価に参加させることができなかったが、各ユニットリーダーが中心になって評価し、管理者が取りまとめた形で取り組んだ。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
重点項目③	運営推進会議は2ヶ月に1度開催し、写真などを使いホームの様子を説明したり意見を聞いたりしている。運営推進会議のメンバーには自治会長、民生委員、市の職員もいるが、出席状況が今ひとつで、報告会になりがちである。外部評価の取り組みなどについて話し合いを行い、サービスの向上につながる意見を出し合えるよう期待したい。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
重点項目④	金銭管理状況についての報告は月1回、その他暮らしぶり、健康状況等についても1~2ヶ月に1回写真や手紙、電話で報告している。さらに運営推進会議に出席したとき、面会時、利用者の暮らし振りを報告時等様々な場面を利用して家族の意見を聴き運営に活かす努力をしている。
	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	自治会に入っているが、地域住民である利用者が少なく、地域との結びつきがホームの努力にかかっている現状である。ホームの認知度と理解がまだ十分といえない。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	母体組織の理念は地域密着型サービスをもとにしたものになっている。事業所独自に検討はされていない。	○	事業所が地域の特性等を踏まえ、また職員の具体的な実践に結びつくよう検討することを望みたい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念の共有は理念を具現化するうえで大切なことである。以前は、職員で唱和しケアに結びつけるようにしていたが、現在はケア実践の場やケア会議で共有するようにしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に入っているが、地域住民である利用者が1名と少なく、地域との結びつきがホームの努力にかかっている現状である。敬老会に参加したり、近くにある高校の生徒の定期的なボランティアも受け入れるなどしているがホームの認知度がまだ十分といえない。	○	利用者の散歩や回覧板回し・地域の行事参加など、地域に馴染みホームや認知症への理解を進めるための働きかけを根気よく続けられることを望みたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者、ユニットリーダーは外部評価の意義を十分理解しているが他の職員については理解が十分といえない。	○	管理者が替わって日が浅いが、現在職員との関係作りも出来上がってきているようなので、外部評価も改善へのステップと理解し、職員全体で具体的に1つひとつ改善に取り組んでほしい。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度、自治会長や市の職員、民生委員、家族に呼びかけ、運営推進会議を行っている。写真などを用い、ホームの様子を説明している。出席状況が良くないため、報告が主となっているがサービス向上につなげようとしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議での結びつきはあり、事故などの報告や情報提供などが行われている。現時点では、日常的な相談ができるまでの連携には到っていない。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	金銭管理状況についての報告は月1回、その他暮らしぶり、健康状況等についても1～2ヶ月に1回写真や手紙、電話で報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議に出席したとき、面会時さらに利用者の暮らし振りを報告時等、様々な場面を利用して家族の意見を聴き、運営に活かす努力をしている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	2ユニットの合同での散歩、折り紙教室、音楽教室、食事等を通して自然な形で2ユニットの職員が入り、馴染みの顔となっている。そのためユニット間での異動についてはホームから特に話すことはしなくとも混乱はない。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人研修は、母体組織が行っていて実施されている。段階的な研修は、現場での管理者による指導が行われているが、計画的に外部研修に参加できる体制にはなっていない。	○	運営面での安定が図られた頃に体系的な教育のシステムづくりを期待したい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	系列の事業所との繋がりや、定期的な会議等で図られている。その他の事業所とは、研修会での繋がりを利用して情報を得る努力をして、サービスに活かしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用開始前には、朝から夕までのホーム体験や、部屋の空きがあるときはショートステイをしてもらい、ホームに馴染んでもらう工夫をしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、利用者の持っている知識や得意なことを教えてもらったりして、支えあう関係を築いている。岐阜の歴史、調理の方法などを詳しく教えてもらい活かしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	最初の段階でのアセスメントがしっかりされており、生活歴・思い、家族の願いなどが把握されている。また毎日のケアの中で利用者の思いを大切にしている。十分表現できない利用者に対しては表情や行動の観察や家族に確認し、利用者本位で判断している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	アセスメントに基づいて、本人・家族・医師などに話しを聞き意見を取り入れ、介護計画を作成している。また、3ヶ月の短期目標、6ヶ月の長期目標を立てケアに取り組んでいる。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的にユニット会議でケアカンファレンスを行い、状態の見直しを行っている。介護計画は1ヶ月に1度見直し、家族にも毎月送って意見を聞いている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	一人住まいだった利用者のマンションに週に1、2度、他の利用者と一緒に掛掛け、留守宅の様子を見てくると共に、お茶を飲んだりして遊びに行くことを楽しんでいる。また利用者の家族の墓参りなどにも職員と利用者が一緒に出かけている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	提携している医師の往診が月2回ある。古くからのかかりつけ医にかかっている利用者もあり、普段は家族が付き添って受診しているが、緊急時には職員が対応している。また体調が良くない時は、月に2回の訪問看護もあり、きめ細かい看護指導を受けることが出来る。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時に、終末についての家族の意向を聞いている。またホームで出来ること出来ないことを伝えている。重度化する兆候が現れた際は、医師や家族との面談を行いながら対応している。ある程度の対応方針をまとめて、文書にしておくことが望まれる。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は明るく丁寧に利用者へ接しており、利用者の思いを尊重した声掛けや働きかけをさりげなく行っている。個人情報のファイルもきちんと保管されている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員のペースにならないよう、押し付けをしない接し方を心がけている。入浴は利用者の希望が取り入れられている。職員は、利用者の希望を聞いたり、意思を確認するようにしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日の食事は、野菜をふんだんに取り入れ、多彩なメニューで食欲をそそるようになっており、利用者は美味しく食事をしている。また月に一度のバイキングやランチの夕食、職員と利用者がともに食事やおやつを作る企画を行い、食事が楽しみになるよう工夫している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は、ある程度の時間を決めているが、利用者が入りたいと言われた時に好きな時間に入ってもらえるようにしている。入浴方法も、一人で入ったり、職員と入ったり、利用者同士入ったりと、希望に合わせて入ってもらっている。		
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	教員だった利用者から歴史を教えてもらったり、調理師だった利用者から包丁の使い方を教えてもらったり等、生活歴を活かして活躍してもらおう場所を工夫している。、軍隊でやっていたからとお盆ふきや掃除をしてくれたりする利用者もいる。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	気候の良い時期には、散歩をしたり喫茶店に行ったりなど戸外へ出るよう努めている。また、利用者の希望を聞き、職員と1対1の外出が出来るよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関やフロアの入り口には鍵をかけていない。利用者が出て行った時は、静かについていってさりげない声掛けをしながら戻ってもらっている。日中一人でごみ捨て場にゴミを運ぶ利用者もいる。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時の水や食料の確保をしている。災害時のマニュアルはあるが、避難訓練は行っていない。また、利用者も職員も地域外から来ている人が多く、地域の認知度が今ひとつであるため、地域の協力体制を確保することが必要である。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食後に食事記録を行い、食事量のチェック、水分チェックを行っている。また、必要な水分を確保できるように支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は、明るく静かで、利用者がそこここで憩えるようにソファや椅子がおいてある。廊下にきれいな花の写真が貼ってあり、居室の入り口には、季節感のある手の込んだ折り紙の飾りなど華やかな飾りが飾られている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の居室には、自分の箆笥やベッドがあったり、コタツや冷蔵庫など好みの電気用品なども自由に持ち込まれている。家族の写真や自分で描いた絵が飾られていたりして居心地の良い居室になっていて、利用者が部屋の行き来をしている。		